

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
専門学校長野ビジネス外語カレッジ		平成16年12月24日		浅野 貴稔		〒 386-0012 (住所) 長野県上田市中央3-5-18 (電話) 0268-23-7220		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人ISI学園		平成15年10月31日		荻野 正昭		〒 170-6009 (住所) 東京都豊島区東池袋3-1-1サンシャイン60 9階 (電話) 03-5962-0064		
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度			
商業実務	商業実務専門課程	グローバルビジネス学科 (WEBマーケティングコース)	平成29年文部科学省認定		令和3年度			
学科の目的	本学科は、戦略的思考や主体性、異文化コミュニケーション力、実践的英語力を身に着け、起業家や大学編入・グローバル企業へ就職する人材育成を目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	開講初年度のため令和4年度中の退学者無し 取得可能な資格: ネットマーケティング検定、Webアナリスト検定、ウェブ解析士、Illustrator®クリエイター能力認定試験、Photoshop®クリエイター能力認定試験、Webクリエイター能力認定試験、ウェブデザイン技能検定(国家資格)、Microsoft Office Specialist(MOS) [Word/Excel/PowerPoint]、日商PC検定、ITパスポート試験(国家試験)							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	1,800 単位時間 〇〇 単位	1,200 単位時間 〇〇 単位	600 単位時間 〇〇 単位	〇〇 単位時間 〇〇 単位	〇〇 単位時間 〇〇 単位	
	生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)				
80人	9人	1人	11%					
就職等の状況	■卒業生数(C) : 人 ■就職希望者数(D) : 人 ■就職者数(E) : 人 ■地元就職者数(F) : 人 ■就職率(E/D) : % ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : % ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : % ■進学者数 : 人 ■その他 : 人							
	開講初年度のため就職・進学実績なし							
	(令和4年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)							
	■主な就職先、業界等 (令和4年度卒業生) 開講初年度のため就職実績なし							
	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL							
	当該学科のホームページURL https://www.isiac.jp/nbl/							
	企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)						
		総授業時数		1,800 単位時間				
		うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間				
		うち企業等と連携した演習の授業時数		570 単位時間				
うち必修授業時数		1,500 単位時間						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		0 単位時間						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		570 単位時間						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		0 単位時間						
(B: 単位数による算定)								
総授業時数		〇〇 単位						
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数		〇〇 単位						
うち企業等と連携した演習の授業時数		〇〇 単位						
うち必修授業時数		〇〇 単位						
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数		〇〇 単位						
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数		〇〇 単位						
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)		〇〇 単位						
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)		0人					
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)		4人					
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)		0人					
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)		0人					
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)		0人					
	計		0人					
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		2人						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程編成委員会は、卒業生の就職先になり得る業界が求める人材としての専門性や、今後のその業界の動向、企業が展開する新たな分野に必要とされる知識や技能を把握・分析した上で、高等教育機関としてふさわしい科目の運営に企業からの要請を充分考慮しながら検討、協議することを基本方針とする。グローバルビジネスコースに関しては、本校で実施されているビジネス系科目の経営戦略、経済学、マーケティング実践等を総合的に学習できるような知識と課題提示ができるようにしている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、本校の教務部、各学科・コース、事務局に対して中心的な位置づけとして、実践的な高等教育を行うために経営や教育現場から誓約を受けない自由な検討を行えるものとする。

教育課程の編成に関しては次のプロセスに基づき意思決定を行う。

1. 学科担当者、コース責任者、事務局各部より、今後の教育課程において検討された改善案を提案する。
2. 教育課程編成委員会にて改善案について各委員の専門的見地からの意見を伺う。
3. 教育課程編成委員会での意見を踏まえ、学園本部の教育推進部、学科責任者を中心に協議され最終改善案をまとめたうえで、校長が決定する。
4. 最終決定した内容は教育課程編成委員会の各委員へ報告を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
石田 浩也	NPO法人コミュニティビジネスネットワーク長野	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
荻原 祥子	荻原館	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
金子 義幸	上田商工会議所	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
水野 泰雄	有限会社デザインルームエム	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
浅野 貴稔	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
佐藤 結花	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
岩本 阿由美	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
堀内 美穂	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	
高木 良幸	専門学校長野ビジネス外語カレッジ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
(年間の開催数及び開催時期)
年2回(原則6月・12月、スケジュールにより前後する)

(開催日時(実績))

第1回 令和02年05月22日 15:00～16:30
第2回 令和02年10月23日 15:00～16:30
第3回 令和03年05月28日 15:00～16:30
第4回 令和03年10月07日 15:00～16:30
第5回 令和04年06月02日 15:00～16:30
第6回 令和04年11月04日 15:00～16:30
第7回 令和05年07月05日 15:00～16:30
第8回 令和05年12月01日 14:00～16:00(予定)

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

教育課程編成委員会からの意見:

①時代のニーズに即した科目編成、コース設置などは不可欠。IT知識を広く学習し、社内全般のIT業務を一通りこなせる人材は長野県などの地方での企業ニーズは多大だと思ふ。

活用:WEBマーケティングコースの設置。企業との提携により生きた知識を学び、地域で活躍できる即戦力人材の育成を目指す。

②問題解決型学習を導入し、学生自ら問題点を発見し解決する能力を身に付けさせることで即戦力となり得ると思ふ。

活用:各コースで問題解決型授業を編成(プロジェクト演習)学生が問題意識を持つ訓練として活用している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業経営者や業界関係者を招いて業界知識を取得すると同時に、実際に与えられた課題に取り組み、経済社会で活躍できる人材になるための素養を身に付けることを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業を行うにあたり、グローバルビジネス学科の目的、授業内容等を確認し授業内容・課題を決める。具体的には、問題整理・分析、解決策の検討、実際の解決案のための諸活動を行い、その成果をプレゼン資料に纏め実際に発表するものである。諸活動では、グループによる取り組みを軸とし、学修成果の評価は実際に企業プレゼンを行い、その内容の良しあしで評価する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
WEBデザイン I	webサイトの設計とマルチデバイスでのフレームワークデザインを理解する	有限会社デザインルームエム
WEBマーケティング基礎 I	DX時代の考え方対策を学ぶデジタル分析を自分ごととして捉え、手法や時代を観る視点を持つ	有限会社デザインルームエム
WEBリテラシー I	これからのWeb活用に必要な基礎知識を習得する一般的なWebアプリの操作、利用ができる	有限会社デザインルームエム
グラフィックデザイン基礎 I	グラフィックデザインの基礎と業界を理解し、デザインツールの基本を覚える	有限会社デザインルームエム
WEB経営 I	新しいインターネット時代の考え方を学ぶ新しい概念が生まれ、それをビジネスに活かす力を身につける	有限会社デザインルームエム

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

グローバルビジネス学科の教員は、教育課程編成委員会でまとめられた意見やグローバル企業の動向や今後の展開を的確に掴み、これから社会に出る学生に対して、社会のニーズに即した経営感覚、技術、知識を身につけることができるよう教授力を上げるための研修を教員研修規定に則って実施する。

既存の経営論に囚われることなく、多様化するグローバル企業の現状や課題を研修を通じて的確に掴み、授業の中で具体的な演習を行いながら最終的に企業にプレゼンテーションをできるまでレベルの学生スキルを高めていけるように、多様化する企業の現状を理解するための研修を計画的に行う。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	最新画像・動画編集技術研修	連携企業等:	有限会社デザインルームエム
期間:	令和5年3月27日(月)15:00~16:00	対象:	WEBマーケティングコース全教職員、キャリアセンター
内容:	canvaを用いた画像・動画編集を学び、学生が授業で活用できるよう指導できるようになる。		
研修名:	長野県における最新の観光ビジネスモデル	連携企業等:	NPO法人コミュニティビジネスネットワーク長野
期間:	令和5年4月14日(金)10:00~11:00	対象:	WEBマーケティングコース全教職員、キャリアセンター
内容:	学生の進路支援・出口支援のために、長野県における最新の観光ビジネスの業態を研究		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	プレゼンテーションスキル向上研修第二回	連携企業等:	NPO法人コミュニティビジネスネットワーク長野
期間:	令和4年9月1日(木)14:00~15:00	対象:	WEBマーケティングコース全教職員
内容:	前回(R2実施)学んだ基礎編を踏まえ、実際の卒業発表を見据えたテーマ設定、プレゼン実技を学ぶ		
研修名:	在留資格セミナー	連携企業等:	長野県行政書士会国際部
期間:	令和5年9月1日(金)13:00~14:30	対象:	WEBマーケティングコース全教職員、キャリアセンター
内容:	留学生進路指導の上で欠かせない、在留資格変更についての知識底上げ。技人国ビザ・特定技能ビザなどの最新情報共有		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	最新画像・動画編集技術研修②	連携企業等:	有限会社デザインルームエム
期間:	令和6年7月	対象:	WEBマーケティングコース全教職員
内容:	コースに関わる全教職員のスキルの底上げを図る。CanvaやAdobeの各種ツールをアドバンスレベルまで使いこなせるようになる。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	「プロジェクト演習による学習成果と今後求められる人材について」	連携企業等:	NPO法人コミュニティビジネスネットワーク長野
期間:	令和6年12月	対象:	全教職員
内容:	本校で導入したプロジェクト演習の学修成果から、また現在・将来の市場社会のニーズから、求められる人材像を考え、どのような教育体制にしていくかを検討、教職員間での意識の統一を図る。		
研修名:	教職員研修(留学生管理、在留資格最新セミナー)	連携企業等:	林行政書士事務所
期間:	令和7年3月	対象:	全教職員
内容:	最新の在留資格や国内での外国人材の活用状況などを講師の方から学び、確実な留学生管理と送り出しができるように全教職員の知識の底上げを図る。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ① 自己点検自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価をおこない、自己評価結果の客観性、透明性を高める。
 ② 企業、業界関係者など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材等、学校の特色、学校の将来像
(2) 学校運営	運営方針、事業計画、組織や意思決定機能、人事や資金での処遇制度、意思決定システム、情報システム化、業務効率
(3) 教育活動	教育目標・育成人材の業界ニーズの方向付け、到達レベルの設定、体系的なカリキュラム、科目の適正な位置づけ、授業評価・評価体制、教員レベル・教員確保、成績評価・単位認定基準、資格取得指導体制
(4) 学修成果	就職率、資格取得率、退学率低減、卒業生・在校生の社会的活動
(5) 学生支援	就職・進学指導体制の整備、学生相談体制、学生経済的支援体制、健康管理、課外活動支援、学生生活環境支援、保護者連携、卒業生支援体制
(6) 教育環境	施設・設備の整備、学外活動・インターンシップ・海外研修体制、防災体制
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動、教育成果の公表、入学選考、学納金
(8) 財務	中長期的財務基盤、予算収支計画、財務会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	法令・設置基準の順守、個人情報保護、自己点検自己評価の実施・公開
(10) 社会貢献・地域貢献	教育資源・施設の社会貢献、学生ボランティア支援
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学生支援体制(キャリア支援・スクールカウンセラー設置など)の更なる整備の必要性のご指摘を受け、学園グループ全体で対応を検討した。ご意見を踏まえ令和五年度から学生進路支援機関のキャリアセンターを各校へ配置し、担任と密な連携を築ける体制を構築した。また同年度より学校保健師を配備し、各校を定期的に巡回、学生がメンタル・フィジカルでの相談を気軽に行えるような体制を整備した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
岡田 基幸	AREC(浅間リサーチエクステンションセンター)	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体
石坂 大輔	渋温泉小石屋・株式会社ヤドロク	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業
林 辰幸	林行政書士事務所	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体
山崎 博昭	上田商工会議所	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	業界団体

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.isi.ac.jp/nbl/about/disclosure/>

公表時期: 令和5年8月

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校の教育理念、ポリシーなどは学校法人や学校のホームページ、入学案内書・募集要項などの冊子に掲載され、企業等の学校関係者や一般の方々に向けて広く情報提供されている。また教育成果としてのプレゼンテーションなどは学園祭で開催し、関係者への理解を深め連携・協力促進のために積極的に情報提供することを基本方針とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念、教育方針、各ポリシー、沿革
(2) 各学科等の教育	学科・コース紹介、カリキュラム、科目紹介、時間割
(3) 教職員	学科・コース担当講師紹介、理事長・校長メッセージ
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリアサポートの流れ、教育の仕組み、企業連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事、施設・設備・環境、教育・留学プログラム
(6) 学生の生活支援	学生寮、進路指導サポート
(7) 学生納付金・修学支援	奨学金制度、学費、減免制度
(8) 学校の財務	監査報告書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録
(9) 学校評価	自己点検自己評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	提携校案内
(11) その他	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.isi.ac.jp/nbl/>

公表時期: 随時

授業科目等の概要

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
必修	選択必修	自由選択													
1	○		WEBデザイン I	webサイトの設計とマルチデバイスでのフレームワークデザインを理解する	1前期	30	1	○			○			○	○
2	○		WEBデザイン II	webサイトの設計とマルチデバイス対応をより効率的に進めるためのワークフローをwordressを使って理解・制作する実践編	1後期	30	1	○			○			○	○
3	○		WEBマーケティング基礎 I	DX時代の考え方対策を学ぶデジタル分析を自分ごととして捉え、手法や時代を観る視点を持つ①	1前期	30	2	○			○			○	○
4	○		WEBマーケティング基礎 II	DX時代の考え方対策を学ぶデジタル分析を自分ごととして捉え、手法や時代を観る視点を持つ②	1後期	30	2	○			○			○	○
5	○		WEBリテラシー I	これからのWeb活用に必要な基礎知識を習得する一般的なWebアプリの操作、利用ができる	1前期	30	2	○			○			○	○
6	○		WEBリテラシー II	これからのWeb活用に必要な基礎知識を習得する一般的なWebアプリの操作、利用ができる	1後期	30	2	○			○			○	○
7	○		グラフィックデザイン基礎 I	グラフィックデザインの基礎と業界を理解し、デザインツールの基本を覚える	1前期	30	1	○			○			○	○
8	○		グラフィックデザイン基礎 II	グラフィックデザインの基礎と業界を理解し、デザインツールの基本を覚える(各種クリエイター検定試験受験)	1後期	30	1	○			○			○	○
9	○		WEB経営 I	新しいインターネット時代の考え方を学ぶ新しい概念が生まれ、それをビジネスに活かす力を身につける	1前期	30	2	○			○			○	○
10	○		WEB経営 II	web3.0の新しい世界を知り、バーチャルファーストのビジネスの世界を新しい視点で考えられる人になる	1後期	30	2	○			○			○	○
11	○		動画マーケティング	条件の中でマーケティングにおける『メッセージ』のある動画編集が出来る	1前期	30	1	○			○			○	○

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
12	○			SNS	最新のSNSマーケティングの始め方やメリットデメリットと成功体験	1 後期	30	1		○		○			○	○
13	○			フォトグラフ	テクニックや感覚だけでなく基礎から積み上げが大切自分で考えて『メッセージ』を伝える写真を撮影出来るようになる	1 前期	30	1		○		○			○	○
14	○			色彩	色彩感覚を覚え、条件の中で『メッセージ』のある動画・写真を撮ることができるようになる	1 後期	30	1		○		○			○	○
15	○			マーケティング基礎Ⅰ	日々の生活や行動からマーケティングを考えてみる、マーケティングの仕組みを理解し活動意義を探究する①	1 前期	30	2	○			○			○	
16	○			マーケティング基礎Ⅱ	日々の生活や行動からマーケティングを考えてみる、マーケティングの仕組みを理解し活動意義を探究する②	1 後期	30	2	○			○			○	
17	○			パソコン検定対策Ⅰ	Windows11でのパソコン操作、Microsoft Office2021の基礎を習得する基本的なビジネス文書の作成、プレゼンテーション資料の作成ができる①	1 前期	30	2	○			○			○	
18	○			パソコン検定対策Ⅱ	Windows11でのパソコン操作、Microsoft Office2021の基礎を習得する基本的なビジネス文書の作成、プレゼンテーション資料の作成ができる②	1 後期	30	2	○			○			○	
19	○			異文化理解Ⅰ	グローバル時代における異質の生活文化空間について、受容し理解できるようコミュニケーション力をつける①	1 前期	30	2	○			○		○		
20	○			異文化理解Ⅱ	グローバル時代における異質の生活文化空間について、受容し理解できるようコミュニケーション力をつける②	1 後期	30	2	○			○		○		
21	○			IT検定対策Ⅰ	IPAが開催する情報系の資格ITパスポート検定合格を目指す①	1 前期	30	2	○			○			○	
22	○			IT検定対策Ⅱ	IPAが開催する情報系の資格ITパスポート検定合格を目指す②	1 後期	30	2	○			○			○	
23	○			キャリアデザインⅠ	進路活動(就職・進学)に向けた自己分析、自分史作り	1 前期	30	2	○			○			○	

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
24	○			キャリアデザインⅡ	履歴書作成、進路についてのキャリア作り	1 後期	30	2	○			○			○	
25	○			WEBデザインⅢ	1年次に学んだ事を活かしたWEBサイト設計①	2 前期	30	1		○		○			○	○
26	○			WEBデザインⅣ	1年次に学んだ事を活かしたWEBサイト設計②	2 後期	30	1		○		○			○	○
27	○			WEBマーケティング実践Ⅰ	デジタルマーケティングの考え方を学び実際に自分たちのデータ運用・活用や保存を実体験する①	2 前期	30	1		○		○			○	○
28	○			WEBマーケティング実践Ⅱ	デジタルマーケティングの考え方を学び実際に自分たちのデータ運用・活用や保存を実体験する②	2 後期	30	1		○		○			○	○
29	○			コンテンツコミュニケーションⅠ	多様なコンテンツを組み合わせた広告企画方法を学ぶ①	2 前期	30	2	○			○			○	○
30	○			コンテンツコミュニケーションⅡ	多様なコンテンツを組み合わせた広告企画方法を学ぶ②	2 後期	30	2	○			○			○	○
31	○			グラフィックデザイン応用Ⅰ	1年次に学んだ事を活かし実際にグラフィックデザイン作品を作成する①	2 前期	30	1		○		○			○	○
32	○			グラフィックデザイン応用Ⅱ	1年次に学んだ事を活かし実際にグラフィックデザイン作品を作成する②	2 後期	30	1		○		○			○	○
33	○			UX/UIデザインⅠ	UX/Uiとは何か、概要を理解	2 前期	30	1		○		○			○	○
34	○			UX/UIデザインⅡ	UX/Uiデザインの目的を理解する、実践	2 後期	30	1		○		○			○	○
35	○			グーグルアナリティクス概論Ⅰ	グーグルアナリティクスとは、概要を理解	2 前期	30	2	○			○			○	○

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
36	○			グーグルアナリティクス概論Ⅱ	グーグルアナリティクスを用いてビジネスに関する情報を分析する	2 後期	30	2	○			○			○	○
37	○			WEB広告	WEB広告を用いた効果的なPR方法を学習する	2 前期	30	2	○			○			○	○
38	○			SEO	SEOとは、SEOを用いたWEBサイトの効果向上施策の実施、効果測定	2 後期	30	2	○			○			○	○
39	○			e-コマースⅠ	ECサイトの市場規模、ビジネスモデルの理解	2 前期	30	2	○			○			○	○
40	○			e-コマースⅡ	自身のECサイト考案、デモサイト作成	2 後期	30	2	○			○			○	○
41	○			クリエイティブデザインⅠ	クリエイティブデザインの概要を理解する。効果的なデザインとはを理解する	2 前期	30	1		○		○			○	○
42	○			クリエイティブデザインⅡ	POPワークなどを実際に作成しながらプロモーション自体が効果をもたらすか研修する	2 後期	30	1		○		○			○	○
43	○			IT検定対策Ⅲ	IPAが開催する情報系の資格ITパスポート検定合格を目指す③	2 前期	30	2	○			○			○	○
44	○			IT検定対策Ⅳ	IPAが開催する情報系の資格ITパスポート検定合格を目指す④	2 後期	30	2	○			○			○	○
45	○			ビジネス資格対策Ⅰ	コースにおいて取得目標としている各種資格試験対策を行う①	2 前期	30	2	○			○			○	○
46	○			ビジネス資格対策Ⅱ	コースにおいて取得目標としている各種資格試験対策を行う②	2 後期	30	2	○			○			○	○
47	○			キャリアデザインⅢ	キャリア設計とその資料、書類作成。業界分析①	1 前期	30	2	○			○		○		

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
48	○			キャリアデザインⅣ	キャリア設計とその資料、書類作成。業界分析②	1 後 期	30	2	○			○		○		
49	○			プロジェクト演習	日本の経済社会で活躍する企業と連携し、関係者を招いて知識・実例を学びつつ課題に取り組む	1 前 期	30	1		○		○			○	○
50	○			卒業研究	卒業論文。テーマ別の研究を行う。	1 後 期	30	1		○		○		○		
51		○		ビジネス英語Ⅰ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる英語の技能を養う①	1 前 期	30	2	○			○			○	
52		○		ビジネス英語Ⅱ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる英語の技能を養う②	1 後 期	30	2	○			○			○	
53		○		英語資格対策Ⅰ	英語能力を向上させる。成果としての英語検定対策①	1 前 期	30	2	○			○			○	
54		○		英語資格対策Ⅱ	英語能力を向上させる。成果としての英語検定対策②	1 後 期	30	2	○			○			○	
55		○		ビジネスプレゼンテーションⅠ	ビジネス等において、自分の考えを説明するためのプレゼンテーションスキルについてを学ぶ①	1 前 期	30	2	○			○		○		
56		○		ビジネスプレゼンテーションⅡ	ビジネス等において、自分の考えを説明するためのプレゼンテーションスキルについてを学ぶ②	1 後 期	30	2	○			○		○		
57		○		ビジネス日本語Ⅰ	ビジネス場面で必要とされるコミュニケーションのための日本語を学習する①	1 前 期	30	2	○			○			○	
58		○		ビジネス日本語Ⅱ	ビジネス場面で必要とされるコミュニケーションのための日本語を学習する②	1 後 期	30	2	○			○			○	
59		○		日本語コミュニケーションⅠ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる日本語の技能を養う①	1 前 期	30	2	○			○			○	

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
60		○		日本語コミュニケーションⅡ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる日本語の技能を養う②	1後期	30	2	○			○			○	
61		○		日本語資格対策Ⅰ	EJU、JLPT、J-TESTの試験対策授業①	1前期	30	2	○			○			○	
62		○		日本語資格対策Ⅱ	EJU、JLPT、J-TESTの試験対策授業②	1後期	30	2	○			○			○	
63		○		ビジネス英語Ⅲ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる英語の技能を養う③	2前期	30	2	○			○			○	
64		○		ビジネス英語Ⅳ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる英語の技能を養う④	2後期	30	2	○			○			○	
65		○		ビジネス翻訳Ⅰ	ビジネスシーンで活用できる基本テクニックを学ぶ①	2前期	30	2	○			○			○	
66		○		ビジネス翻訳Ⅱ	ビジネスシーンで活用できる基本テクニックを学ぶ②	2後期	30	2	○			○			○	
67		○		日本語コミュニケーションⅢ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる日本語の技能を養う③	2前期	30	2	○			○			○	
68		○		日本語コミュニケーションⅣ	目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる日本語の技能を養う④	2後期	30	2	○			○			○	
69		○		日本語資格対策Ⅲ	EJU、JLPT、J-TESTの試験対策授業③	2前期	30	2	○			○			○	
70		○		日本語資格対策Ⅳ	EJU、JLPT、J-TESTの試験対策授業④	2後期	30	2	○			○			○	
合計						70	科目	140 単位 (単位時間)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件： 一年次及び二年次に履修した授業科目の認定時数の合計が1800時間以上且つ各コースの必要単位数を修得すること	1学年の学期区分 前・後期

(商業実務専門課程グローバルビジネス学科WEBマーケティングコース) 令和5年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
履修方法： 所定の授業への出席、学内試験の受験、課題の提出、所定の単位修得をもって履修								1学期の授業期間				15週			

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。